



中央区

※保健だよりは毎月15日号に掲載しています。

中央区役所 〒810-8622 中央区大名二丁目5-31

区役所代表電話 ☎714-2131

午前8時45分～午後5時15分 土・日・祝日・年末年始を除く

区ホームページは「福岡市 中央区」で検索するか右のコードから
区フェイスブックページは「情報発信中央区」で検索



区役所玄関前の花壇

区の人口 204,588人 (前月比7人増) (男 91,484人 女 113,104人) 世帯数 126,621世帯 (前月比97世帯増) (令和2年9月1日現在推計)

調、所、園 など文中で使用している記号の説明は、本紙14面を参照してください。

中央区で活躍する高齢者を紹介します

市は人生100年時代に向けて、住み慣れた地域で、心身ともに健康で自分らしく暮らせる社会をつくるプロジェクト「福岡100」を推進しています。皆さんも活躍の場を広げて、いつまでも生き生きと過ごしてみませんか。

24年間公園清掃を続けています

高宮校下の下假正徳さん(80)は、二本木公園の清掃活動を24年間行っています。平成6年に大病を患い、「もし病気がよくなったら、その後の人生はボランティア活動をして人のために生きる」と心に決めたそうです。その後、病を乗り越え、平成8年から個人で、自宅近くの一本木公園で清掃活動を始めました。



現在は、毎月第2月曜日、地域の子ども会と老人クラブと一緒に清掃活動を行っています。下假さんは特にトイレ掃除に力を入れていますが、「利用者から、きれいになりましたね。ご苦労さまですと声を掛けて



下假さん(中央)と子ども会・老人クラブの皆さん

もらうと、うれしくなります」と笑顔で話します。下假さんは取材の最後に「公園をきれいにすることで利用者に安心して遊んでもらえ、やりがいを感じています。体力が続く限り頑張ります」と話してくれました。

仲間と一緒に子育て支援

中央児童会館「あいくる」(今泉一丁目)では、「地域子育てサポーター養成講座」を受講した人々によるボランティア活動が行われています。活動は月2回で、「あいくる」に遊びに来る子どもたちのおもちゃを手作りしたり、季節の催し



去年のクリスマスのおはなし会

末吉美智子さん(65)と江口洋子さん(65)は、手作りのお面や衣装を着てイベントを行い、大いに会場を盛り上げます。3人は、「どうすれば子どもが喜ぶかをいつも考えています。トイレレットペーパーの芯や牛乳パックなどの生活雑貨からおもちゃが作れないかなど、ボランティア同士

物を行ったりしています。唯一の男性ボランティアである樋水公二さん(75)は、「子どもと関わり、元気がもらえる」と話します。特に読み聞かせが好評で、樋水さんが絵本を読み始めると、周りを囲むように子どもたちの輪ができます。

物を行ったりしています。



小道具は全て手作りです



自分のペースで運動します

元気な体を維持するために

「エーデルワイス」は、区が主催する「65歳からの健康づくり教室」の修了者で結成したグループです。その後も運動を継続したいと希望する人たちが自主的に集まり、市が推奨する「よかトレ実践ステーション」にも登録しています。平均年齢は75歳で、毎月第1・第3木曜日に活動を行っています。

います。

グループの代表を務める石橋秀子さん(81)は、スポーツクラブに通い始めて35年。ヨガや水泳、卓球が得意で、エーデルワイスのメンバーにヨガの指導を行うほどの腕前です。健康に関する知識も豊富で、新しい情報がないか常にアンテナを張っています。

シニアのための智恵袋(中央区版)

「シニアのための智恵袋(中央区版)」=写真=には、高齢者の生きがいや健康づくりに関する情報が満載です。福祉サービスの紹介や年金、税金、健康保険などの手続きについても掲載しています。区役所1階、市情報プラザ(市役所1階)などで配布しています。市ホームページ(「シニアのための智恵袋」で検索)からもダウンロードできます。☎区福祉・介護保険課 718-1145 ☒771-4955



光雲神社の大鳥居

桜の名所・西公園に福岡藩祖黒田孝高(官兵衛)と初代藩主黒田長政親子が祭られている「光雲神社」があります。神社の名は孝高と長政のそれぞれの法名「龍光院」と「興雲院」から、「光」と「雲」の1字ずつ取って付けられています。神社は明和5(1768)年、6代藩主の黒田継高が、長政を「武威円徳聖照権現」として福岡城の二の丸、祈念櫓の下に祠を創建して、お祭りし、後に孝高を「水鏡権現」として合祀したところから始まります。明治40(1907)年に現在地に移りますが、昭和20(1945)年の福岡大空襲で焼失、昭和41(1966)年に



第3話 光雲神社のさい銭箱

「新天町」の創設や、櫛田神社の節分大祭で使用する「お多福面」、博多祇園山笠の「集団山見せ」、太宰府天満宮の「曲水の宴」の再現などを発案し、実現させました。田中の功績は、今もまたに元気を与え続けています。

この仕掛けの発案者は、「福岡・博多のアイデアマン」として知られる田中諭吉(1901-1970)です。田中は、

再建されました。

神社の拝殿の天井には、木原信の日本画「鶴」が描かれています。右写真。黒田家の家紋「藤巴」を真ん中に、福岡城の別名「舞鶴城」にちなんだ雌雄2羽のタンチョウヅルが描かれています。拝殿にあるさい銭箱にはさい銭を入れると、ツルの鳴き声がする仕掛けが施されています。



障がい者施設による物販を行っています

障がい者施設で作られたパンや雑貨などを販売しています。☎毎週木曜日の正午～午後1時 ☒区役所1階ロビー ☎区総務課 718-1005 ☒714-2141

